

平成 28 年度 第 1 回運営推進会議 議事録

平成 28 年 5 月 20 日（金）13：30～14：30

グループホーム さくらの里

出席者 （地域）松尾西 5 町内 T 様、K 様 ささえりあ熊本西 K 様
（ご家族）O 様
（さくらの里） 管理者：下川 司会：吉富 議事録：上野

① 開会

熊本地震により皆さまが被災され大変お忙しい中に起こし頂きましてありがとうございます。

この地震で運営推進会議も予定より遅れまして申し訳ありませんでした。

今年度も運営推進委員の方々の意見を取り入れながら運営していきたいので、ご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

② 管理者より

先般の地震では、最初の前震の日に法人職員 15 名が出てこれずに休むという事がありました。その後は職員が互いに協力し合い助け合いながら、何とか乗り切る事ができました。学校、幼稚園、保育園が利用できずに職場に連れてきて職務に就く職員も多数おり、子連れ勤務で頑張ってくれました。また車中泊や避難所から出勤する職員もいました。

③ 地震の被害状況、対応の報告・情報交換

- ・当法人は、今回の地震では人的な被害はありませんでしたが、建物被害があり、水道管の破断、外壁の（タイル）の破損が甚大でした。＜管理者＞
- ・避難場所の問い合わせがあり、自治会長に連絡しこちらに避難させていただきました。助かりました。＜T 様＞
- ・さくらの苑も断水になり、食事の心配があり、余所ではおにぎりだけの食事の所もあったと聞きましたが、業者様の努力等もあり当施設は普段どおりの食事を献立変更する事なくお出しすることが出来ました。＜管理者＞
- ・福祉避難所枠 2 名を超え 10 名を受け入れ現在もオーバーしている状況。＜管理者＞
- ・水も入所者のご家族の好意で汲みに行かせてもらう事ができて助かった。＜管理者＞
- ・救援物資も沢山いただき、地域の方々にもお配りすることができた。＜管理者＞
- ・入所者様は普段と何一つ変わらず生活されており、それが一番でした。＜管理者＞
- ・地震発生時の GH の状況を説明し、津波警報発令時に特養へ避難した事を説明する。
＜吉富＞

- ・近所の山に、この辺の方々が一斉に山へ車で避難に向かったために渋滞していた。

<T様>

- ・地震後の対応として浴槽に水を張り水不足に備える、食器やラップを用意する、物資を揃える等を報告する。<吉富>
- ・大久保様より「うちの牧場は普通の倍以上の深さの井戸を掘っていて今回の地震でも断水は全くなかったので常時3万リットル(300頭×100L)をタンクに用意していますので、何かあったら連絡頂ければもってきますよ」と給水支援のお話を頂く。

<O様>

④ ささえりあ熊本西様からの報告

*今回の地震で被災された方のお見舞い申し上げます。

地震後の活動として、避難所を周り物資のお届けや血圧測定、エコノミークラス症候群を予防する為の体操などを行なっています。

7月からの地域交流会に活かしていきたいと思っています。

最後に、今月予定されていた松尾西小学校の運動会が、当初の予定通り今月29日に開催されることを確認し閉会する。

平成28年度運営推進会議予定をお配りする。

議事録：上野 純二